

雑誌記事・論文を探す

雑誌記事や学術論文をウェブ上で検索することができるサイトを紹介します。

番号	名称、URL	概要	説明、URL
1	CiNii Research https://cir.nii.ac.jp/	国立情報学研究所が運営する学術情報検索サービス。学術研究機関等が提供する学術論文、刊行物、研究データ、プロジェクト、研究者などの情報を横断検索できる。2022年4月、CiNii Articlesと統合	CiNii Researchについて https://support.nii.ac.jp/ja/cir/manual_outline
2	国立国会図書館オンライン 雑誌記事索引 https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/	国立国会図書館所蔵の国内刊行雑誌のうち、1948年（昭和23年）以降の学術雑誌、専門誌、一般総合誌などの記事を、論文名、著者名から検索することができる。 「詳細検索」で雑誌記事を選択して使用する	雑誌記事索引採録誌一覧 https://www.ndl.go.jp/jp/data/sakuin/sakuin_index.html
3	Google Scholar https://scholar.google.co.jp/	査読論文、学位論文、プレプリント、書籍、テクニカルレポート等が検索できる。多くの文献は 全文閲覧が可能となっている。	google Scholarについて（英文） https://scholar.google.co.jp/intl/ja/scholar/about.html
4	国立国会図書館サーチ https://iss.ndl.go.jp/	全国の公共図書館、公文書館、美術館や学術研究機関等が提供する資料、デジタルコンテンツを統合的に検索できるサービス。大学等でデジタル化された紀要論文なども全文が利用できるものもある	国立国会図書館サーチとは https://iss.ndl.go.jp/information/outline/
5	国立国会図書館デジタルコレクション https://dl.ndl.go.jp/	国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できるサービス	このデータベースについて https://dl.ndl.go.jp/ja/intro

6	IRDB学術機関リポジトリデータベース https://irdb.nii.ac.jp/	国立情報学研究所が運営するシステム。日本の学術機関リポジトリに蓄積された学術情報（学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書等）を横断的に検索できる	IRDBとは https://support.irdb.nii.ac.jp/ja
7	J-GLOBAL https://jglobal.jst.go.jp/	国立研究開発法人科学技術振興機構が運営する、文献や研究者、特許、機関等研究において重要な10種類の科学技術情報を総合的に検索できるサービス	J-GLOBALについて https://jglobal.jst.go.jp/aboutus/home
8	J-STAGE https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/	国立研究開発法人科学技術振興機構が運営する、日本国内の科学技術情報関係の電子ジャーナル発行を支援するシステム。日本の科学技術（人文科学・社会科学含む）情報関連の学協会が発行する雑誌や講演要旨、学会報告書等を検索・閲覧でき、9割以上の記事は無料で全文閲覧できる	J-STAGEとは https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/JstageOverview/-char/ja
9	リサーチ・ナビ 国立国会図書館目次データベース https://rnavi.ndl.go.jp/jp/mokuji/index.html	国立国会図書館が提供するサービス。内容細目とは別に、単行書であっても構成レベルが参照の対象となるものの目次を採録している	リサーチ・ナビについて https://rnavi.ndl.go.jp/jp/about/help.html
10	文化財関係文献の検索 https://www.tobunken.go.jp/archives/%E6%96%87%E5%8C%96%E8%B2%A1%E9%96%A2%E4%BF%82%E6%96%87%E7%8C%AE%E3%81%AE%E6%A4%9C%E7%B4%A2/	東京文化財研究所が『日本美術年鑑』編集に際して採録した文献（明治期～2010年）、東京文化財研究所関連刊行物所載文献など6つのデータベースを統合している	
11	文化財論文ナビ https://sitereports.nabunken.go.jp/ja/search-article	奈良文化財研究所が作成した考古学中心のデータベース。市町村博物館や埋蔵文化財センターの刊行物の論文情報も採録対象とし、全国の博物館・埋文センターの論文情報にアクセスできる	